

ユーザー訪問 (有)キクユウ薬局●宮城県石巻市

# 東日本大震災で薬局は全壊状態 しかし「Recepty NEXT」が レセプトデータを守った

未曾有の被害をもたらした東日本大震災。石巻市のキクユウ薬局も大きな被害を受けた薬局の1つだ。薬剤やカルテなどの文書、コンピュータなどの機器類はすべて津波の浸水で使いものにならなくなった。しかし、EMシステムズの調剤システム「Recepty NEXT」を導入していたことで、レセプトデータは保全されていた。

## 震災直後から始まった避難生活

3月11日。その日、キクユウ薬局（宮城県石巻市）の薬剤師、丸山順子氏は会合に参加するため、女川町立病院に車で向かっていた。未曾有の被害をもたらした大地震は、そのとき起こった。

「病院にたどりついて車を置き、裏手の高台にある熊野神社に避難しました。津波が迫ってきて、いまでも思い出すとゾッとします。波が引いた後、雪が降ってきたので、避難した皆さんと病院の4階で1晩過ごしました」

当時の状況を丸山氏はこう振り返る。



キクユウ薬局の薬剤師、  
ケアマネージャー、  
丸山順子氏

丸山氏は石巻で長く薬局を経営する家系に生まれている。丸山氏は5代目にあたり、薬剤師である父、妹とともにJR石巻駅近くの薬局で勤務していた。また、丸山氏はケアマネージャーの資格も有し、居宅介護支援業務も行っていた。地震直後、妹が父母を連れて中学校に避難して、無事だった。

「その後、しばらく家族で避難所生活を送りながら、他の避難所を訪ね、ヘルパーなどのスタッフの安否を確認しました。幸い、皆無事だった

ので、手分けして私たちが介護を支援していた患者さんを訪問し、お互いがんばろうと励まし合いました。こういう状況ですから、やれることは限られますが、ご高齢の方はよりいっそうストレスを抱えていらっしゃると思いますから、話をきくだけでも効果があると思っています」

## データセンターサーバ内に 保存されていたレセプトデータ

キクユウ薬局は、1階の天井近くまで浸水、薬剤やカルテなどの文書、コンピュータなどの機器類もすべて使いものになら



<上>壊滅的な被害を受けた石巻市南浜町一帯。<下右>津波で陸地へ乗り上げた船が民家を直撃した。<下左>キクユウ薬局があった立町では懸命の復旧作業が続けられている。5月18日撮影

らなくなった。では、レセプトデータはどうなっただろうか――。

同薬局では、レセコン導入時にEMシステムズの調剤システム「Recepty」を採用。その後、NET Receptyに変更し、さらに昨年からは処方せん枚数に応じた課金システムの「Recepty NEXT」を導入していた。丸山氏がEMシステムズに問い合わせたところ、データセンターサーバ内にレセプトデータが保存されていることが分かった。「Recepty NEXT」には、常に差分データがデータセンターサーバ内に蓄積されることにより、万一の時でも安心な「レプリケーション機能」が搭載されている。この機能が役立った。

「3月11日のレセプトデータもサーバ内に保存されており、すぐに請求することができました。『Recepty NEXT』を導入していて本当によかったと思います」

丸山氏は今、親戚の家に身を寄せながら、薬局の復旧に向けて模索している。現在の場所にこだわらず、石巻市内の他の用地取得も視野に入れているという。最後に、丸山氏は笑顔でこう語った。

「今回の震災で、皆さんに助けられ、私たちは支えられて生きているんだということを実感しました。薬局を復旧した際は、この気持ちを患者さんに向けて服薬指導や介護支援に尽力したいと思います」。